

Ⅲ 各教科等の指導重点事項

子どもたちが課題を解決したときの達成感や学んだことの意義を実感でき、主体的に学び続ける意欲を高めていくためには、一人ひとりの学びの過程や学習状況を丁寧に見取り、学習の進め方や表現方法を選択する場を設定したり、学び合いの成果を実感できるような振り返りの場面を取り入れたりするなど、教師の働きかけを工夫することが大切です。

ここでは、各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を整理するとともに、「わかった」「できた」を実感でき、「もっと学びたい」につなげるための指導のあり方に焦点をあて、各教科等の特質に応じた授業づくりの一例を取り上げました。

〇〇科

重点事項

1

.

2

.

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

「単元名、題材名、活動名 等」(対象学年)

本時のねらい

【教師】.

.

.

.

学習課題：

【教師】.

.

.

.

各教科等における、小・中学校共通の指導重点事項を示しています。

「もっと学びたい」につなげるために、重視したい指導のポイントを示しています。

指導のポイントに関わる教師の働きかけを下線と文字囲みで示しています。

自ら学びに取り組む子どもの姿を示しています。

国語科

重点事項

1 確かな言語能力を育成する指導の工夫

- 言葉の働きに関する自分の知識や理解、認識などの変容を自覚できるような学びが、螺旋的に積み重ねられていく単元や授業を構想する。
- 小学校では日常生活において、中学校では社会生活において生かすことのできる言語能力をはぐくむために、身に付けた力を活用した実践的・体験的な活動を取り入れる。

2 叙述に即して読み取り、効果的に表現する力を高める指導の工夫

- 論理構成を適切にとらえたり、描写の意図を考えたりするなど、文章の種類に応じた読み方を身に付けることができるよう、言葉や表現に着目して吟味する活動の充実を図る。
- 相手や目的を明確にして情報を収集、検討したり、文章を推敲したりするなどの学習の過程を重視し、読み取る活動と表現する活動を相互に関連させた学習活動の充実を図る。
- 伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう、一人ひとりの考えや表現を価値付け、全体で共有する場を設定する。

3 言語活動を支える基盤づくりの工夫

- 言葉に対する知識を身に付け、認識を深めることができるよう、獲得させたい言葉や表現等を授業や生活の中で取り上げるなど、教師の日々の働きかけを大切にする。
- 学校司書と連携し、学校図書館や図書コーナー等を計画的に活用するなど、多様な本にふれる機会の充実を図る。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 文章の内容や構成、中心となる部分について整理し、筆者の説明の仕方をとらえることができるよう、既習の知識と結び付けて読み、自分の考えを持つことができるような学習活動を設定することが大切です。

「ダイコンは大きな根？」（中学校1年）

本時のねらい：文章の内容や構成、中心となる部分に着目し、筆者の説明の仕方をとらえることができる。

【教師】筆者は分かりやすく説明するために、どのような工夫をしているのでしょうか。

- 問いの段落と答えの段落が続き、疑問を解決するような書き方をしています。
- ダイコンとカイワレダイコンの図を示し、器官の違いを分かりやすく述べています。
- ダイコンの器官について、味や調理の工夫など、身近なことからつなげて説明しているので、比較しやすいです。
- まとめの段落に「新しい魅力が見えてくるかもしれません」と書いているので、他の野菜についても調べてみたくなります。

●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
筆者の主張	まとめ	例示	理由	問い・答え	話題提示	導入	段落の役割	比較	図
									題名

〔既習事項と関連した読みの視点〕

【教師】筆者の説明の工夫を、自分が書くときにどのように生かすことができるのでしょうか。

既習事項と関連付けて考えることができる学習活動を設定をする

- 読み手に分かりやすい構成にするために、段落の役割に着目して、書く順番を考えようと思います。
- 書かれている内容を比較しやすくするために、例や図の示し方を工夫したいです。
- 題名や文末の表現を工夫することのほかに、読み手の関心を高めるための工夫を考えたいです。

《 社 会 科 》

重点事項

1 追究意欲を高める指導過程の工夫

- 社会的事象に対する気付きや疑問を引き出すことができるよう、探究心を喚起する学習課題の設定や資料の提示を行う。
- 自分の考えを見つめ直したり、新たな疑問を持ったりすることができるよう、学習課題に対するまとめや学びを振り返る場面を重視する。

2 考えたことを表現する力を高める指導の充実

- 資料から必要な情報を適切に読み取ったり、調べて分かったことを目的に応じて整理したりする活動を通して、社会的事象の意味や働き、事象間の関連などを解釈し、自分の考えを持つことができるようにする。
- 地図や統計、年表などの資料や、調査活動を通して分かった事実をもとに、理由や根拠を明らかにして自分の考えを表現する場面を設定する。
- 視点や目的を明確にした話し合い活動を取り入れたり、ICTを効果的に活用したりするなどして、分かった事実や一人ひとりの考えを比較したり関連付けたりすることができるようにする。

3 社会への参画意識を高める指導の工夫

- 社会の一員としての意識を高めることができるよう、様々な立場や意見を踏まえ、よりよい社会のあり方を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする場面を、各分野、単元の中に意図的に設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 社会的事象をより多面的・多角的にとらえることができるよう、既習事項や複数の資料を関連付けて考察したり、収集した情報を整理・分析しながら話し合ったことをもとに自分の考えを再構築したりする場を設定することが重要です。

「地球社会と私たち」（中学校3年）

本時のねらい：日本のエネルギー政策のあり方について、複数の資料を関連付けて考察することができる。

【教師】日本のエネルギー政策について、資料をもとに話し合しましょう。

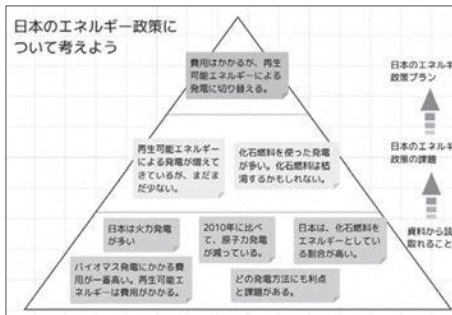
複数の資料を関連付け、多面的に考えさせる

- 日本の電力生産の問題点等を資料から読み取る。
 - 日本は火力発電が多いことが分かります。
 - 2010年に比べて原子力発電が減ったのは、東日本大震災の影響でしょうか。
- 読み取ったことをもとに、日本のエネルギー政策の課題をまとめる。
 - 化石燃料を使用する火力発電が多いです。化石燃料は輸入に頼っている上に、枯渇する可能性があります。
- 日本のエネルギー政策プランを考える。
 - 世界のエネルギー政策を参考にしながら、今後の政策のあり方を考えていかなければいけないと思います。
 - 持続可能性の観点からも、再生可能エネルギーを使った発電に切り替えた方がよいと思います。

〔提示資料の例〕

- 日本のエネルギー供給の割合の推移
- 日本の鉱山資源の輸入先
- 主な国の発電量の内訳
- 日本のエネルギー別の発電にかかる費用
- 主な発電方法の利点と課題

〔思考ツール（ピラミッドチャート）の活用〕



【教師】話し合ったことをもとに、「環境大臣」として今後のエネルギー政策の案を考えましょう。

話し合ったことをもとに、自分の考えを再構築する場を設定する

- 日本がエネルギーの安定供給を続けるためには、主なエネルギーを化石燃料から再生可能エネルギーに転換したほうがいいな。でも、再生可能エネルギーは、発電費用が高額だ。予算の増額を検討しなければいけないな。

算数科、数学科

重点事項

1 算数・数学のよさを実感させるための工夫

- 日常生活や数学の事象から見いだした疑問や予想を、課題設定や学習過程に生かすことで、解決する必要感を持って学習活動に取り組むことができるようにする。
- 子どもの興味・関心を高め、一人ひとりが自分なりの考えを持つことができるよう、課題の提示の仕方や、解決の見通しを持つ場面を工夫する。
- 身に付けた知識や技能を具体的な場面で活用したり、さらに発展させて新たな課題を解決したりすることで、学習したことの有用性を実感することができる活動の充実を図る。

2 思考力・判断力・表現力等を育成する指導の充実

- 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて、自分の考えをまとめたり、互いの考えを伝え合ったりする活動を積み重ねる。
- 多様な考えを価値付け、比較・検討する場の充実を図るとともに、誤答をもとに再考するなど、思考の過程に着目して考察する活動を工夫する。

3 基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得する指導の工夫

- 計算や作図など、技能の習熟を図る活動を単元の中で計画的に設定するとともに、学習状況を適切に見取り、個に応じた指導を工夫する。
- 全体で共有した考えが一人ひとりの理解と結びつくよう、学習過程を振り返る活動の充実を図る。
- 新たな知識や技能と既習事項を関連付けて考える場面を設定したり、必要に応じて学び直しの機会を取り入れるなど、学習内容のつながりを生かした指導の充実を図る。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 新たな気づきを促したり、友達の考えを取り入れたりすることで、学びの広がりを実感することができるよう、問題解決の過程に着目した話合いや振り返りの場を設定することが大切です。

「式の計算」（中学校2年）

本時のねらい：乗法と除法が混じった式の計算をすることができる。

（問題） $8a^3b \div 4a^2 \times ab$ を計算しなさい。

【教師】 みなさんの解いている様子を見ると、次のような解答が多いようです。2つの解答を比較し、気付いたことをペアで話し合ってみましょう。

個々の学習状況を見取り、解決の過程に着目する場を設定する

解答①

$$\begin{aligned} 8a^3b \div 4a^2 \times ab &= \frac{8a^3b}{4a^2 \times ab} \\ &= 2 \end{aligned}$$

解答②

$$\begin{aligned} 8a^3b \div 4a^2 \times ab &= \frac{8a^3b \times ab}{4a^2} \\ &= 2a^2b^2 \end{aligned}$$

- ①と②では、 ab をかけている位置が違ってきます。
 - この問題だと、乗法だけの式にしたときに逆数になるのは $4a^2$ だけだと思います。
 - そうですね。①は ab も割り算として計算していることになりますね。
 - 文字式でも、式の見方や計算の仕方はこれまで学習したことが使えそうですね。
- （答え） $2a^2b^2$

【教師】 ここまでの学習を振り返り、これから計算するときに気を付けたいポイントを書きましょう。
友達の考えを参考にしてもかまいません。

学習内容を振り返り、自分の解き方を調整する場を設定する

約分のミスが多いので、慣れるまでは文字をすべて書いて計算するようにしたい。

乗法と除法が混じった計算をすべて乗法に直すときは、何を逆数にするか気を付ける。

- 私も、何を逆数にするのか、式をよく確認して計算しよう。
- 累乗の指数に注意して、文字の数に気を付けながら約分しよう。次は、分数が混じった問題にも挑戦したいな。

〔友達の計算のポイント〕

理 科

重点事項

1 自然の事物・現象についての知識や技能の習得につながる指導の充実

- ・課題解決を通して理解を深めることができるよう、子どもの問題意識に基づく課題を設定するとともに、他の場面と関連付けて考える場を設定する。
- ・観察、実験の基本的な技能の習得につながるよう、目的に応じて器具を操作する過程や、結果を適切に記録する活動などを積み重ねる。

2 見通しを持って、科学的に探究する力を育成する指導の充実

- ・既習内容や生活経験をもとに、予想や仮説を立て、観察や実験を計画する場を設定する。
- ・考察の場面で、比較、関連付け、条件制御などの考え方を働かせ、より妥当な考えかどうかについて根拠を明らかにしながら話し合う活動を取り入れる。
- ・次の学習に見通しを持って取り組むことができるよう、実験が予想や仮説を確かめる上で適切であったか振り返る機会の充実を図る。

3 自然の事物・現象に進んで関わり、探究しようとする態度を養う指導の工夫

- ・子どもが理科の楽しさや有用性を実感し、学ぶ意欲を高めることができるよう、学んだことを自然の事物・現象や日常生活との関連でとらえ直す場面を設定する。
- ・進んで自然に関わろうとする態度を養うことができるよう、植物の栽培や気象観測などの直接体験を重視するとともに、必要に応じて画像や動画などを活用し、自然の変化や規則性を発見する場を設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・課題解決の見通しを持って学習を進めることができるよう、予想や考えをもとに、観察や実験の内容を検討する場の設定が大切です。

「電流を取り出すために必要な条件」(中学校3年)

本時のねらい：実験を通して、電流を取り出すことができる条件について考えることができる。

○レモンと2種類の金属板を組み合わせた装置と、レモンをうすい塩酸に変えた装置を準備し、モーターが回る様子を観察する。

- ・レモンかうすい塩酸と金属板しか使っていないから、ここが電池になっているんだな。
- ・金属板を2種類使わないと電流を取り出せないのかな。

学習課題：電流を取り出すために必要な条件を見つけよう

【教師】電流を取り出すために必要な条件を予想し、付せんに書きましょう。

＜ワークシートに各自の予想を貼る＞

- ・レモンやうすい塩酸は電流を取り出せるから、酸性の水溶液が必要なんじゃないかな。
- ・金属板が2種類あるのが気になるな。金属の種類が条件になりそうだな。

【教師】予想した条件が正しいか確認する方法をグループで検討しましょう。

実験内容を検討する場面を設定する

[ワークシートの一部]

	私が考えた条件は	条件が正しいかどうか確認するには
A さん	水溶液が酸性 ・レモンやうすい塩酸で電気が取り出せるから	食塩水や砂糖水を使うと電流が取り出せないはず 中性やアルカリ性の水溶液で実験する ほかの酸性の水溶液でも確認したほうがいい
B さん	金属が2種類必要 ・+極や-極は金属の種類で決まっていると思う	+極や-極が決まるなら、亜鉛と銅の板を逆につけたら確認できる 鉄とかマグネシウムを使う 片方を金属だけ変えてみる
C さん	亜鉛と銅を使う	鉄とかマグネシウム 金属板のどちら

＜確認する方法について付せんに書き、整理しながら話し合う＞

- ・中性やアルカリ性の水溶液を使って実験するのはどうでしょうか。
- ・その意見に賛成です。食塩水や砂糖水と書いたのは、中性の水溶液という意味なので、アルカリ性の水溶液でも実験をすれば、条件が正しいかわかると思います。
- ・条件が正しいかどうか、ほかの酸性の水溶液で確認することも必要だと思います。

生活科

重点事項

1 自分のよさや可能性に気付くことができる指導の工夫

- ・自分自身の成長について実感し、次の活動への意欲を高めることができるよう、見付けたことをICTを活用して写真等で記録させるとともに、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどを振り返り、表現する場面を設定する。
- ・自分のよさや得意としていることに気付くことができるよう、友達のよさを互いに伝え合う活動を設定する。
- ・各単元における子どもの成長を見取り、「～ができるようになったね」「～博士になったね」などの言葉がけをし、認めたり励ましたりする機会の充実に努める。

2 幼児期の教育や中学年以降の学びとのつながりを意識した指導の工夫

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として、幼児期の遊びを通した学びが、小学校の学習にどのようにつながっているかについて把握するとともに、生活科を中心に各教科等との関連を図った単元を構成するなど、合科的・関連的な指導を工夫する。
- ・生活科での学びが、中学年以降の社会科や理科、総合的な学習の時間等に発展的につながっていくよう、子どもの思いや願いを生かした主体的な活動を重視するとともに、人や社会と関わることの楽しさや、自然の不思議さ、面白さを実感できる活動を設定する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・活動や体験から得た気付きを確かなものとし、新たな思いや願いを持つことができるよう、体験活動と表現活動を単元の中で繰り返し設定することが大切です。

「かぞくにこにこ 大さくせん」(小学校1年)

本時のねらい：家庭での取組について振り返ったり、振り返ったことを伝え合ったりする活動を通して、これから取り組みたいことについて考えることができる。

【教師】「かぞくにこにこ 大さくせん」で、頑張ったことや感じたことをグループで紹介し、お互いに質問したり、感想を伝えたりしましょう。

気付きを確かなものにする場を設定する

A：洗濯物がたくさんあってお母さんが大変そうだから、一緒にたたむことにしました。何日か続けたら上手にできるようになりました。「ありがとう。助かるよ。」と言われてうれしかったです。

【伝え合いの仕方の例】

B：どうやったら上手にできましたか。

①振り返りシートをもとに1人目が紹介する

A：端と端をしっかりと合わせると上手にできました。

②他の人が質問をしたり、感想を伝えたりする

C：私は洗濯物を干すのを手伝ったことがあります。たたむのもやってみたいです。

③質問に答えたり、思ったことを返したりする

A：僕も干すのもやってみようかな。

④次の人の紹介を同じように続ける

【教師】友達との伝え合いで、どんなことを感じましたか。

- ・みんなが家族のために色々なことをしていてすごいと思いました。もっと家族に喜んでもらいたいです。
- ・グループの友達に「頑張ったんだね。」と言ってもらってうれしかったです。もっとやりたくなりました。

【教師】もっと喜んでもらいたい、もっとやりたいと思ったのですね。みんなはどうですか。

- ・私もです。〇〇さんがやったお風呂洗いに挑戦したいと思いました。
- ・お皿洗いをしたらお母さんが喜んでくれたし、友達が上手に洗うコツを教えてくれたから、またやりたいです。

【教師】では、「かぞくにこにこ 大さくせん」にもう一度挑戦してみましょう。どんなことをするか、一人ひとり、作戦を考えましょう。

子どもの思いや願いを引き出し、新たな体験活動につなげる

《 音楽科 》

重点事項

1 知覚したことと感受したことを関わらせ、音楽のよさを実感する指導の充実

- 音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることができるよう、音楽を形づくっている要素と曲想とを結び付けて考え、言葉で伝え合う活動を適切に位置付ける。
- 曲を聴いて感じ取った面白さや美しさと、音楽を形づくっている要素の働きとを関連付けてとらえることができるよう、聴く視点を示したり、つぶやきを取り上げて問い返したりするなどの手立てを講じる。
- 思いや意図を持って試行錯誤することにより、高まった音楽表現を全体で共有する場を設け、価値付けることで、曲や表現のよさを実感させる。

2 音楽活動の基礎的な能力を培う指導の充実

- 表現を創意工夫するために必要な技能を習得できるよう、個々の思いや意図を伝え合う活動と音楽で試す活動を行き来させる学習過程を重視する。
- 表現領域の複数の分野を関連付けたり、表現領域と鑑賞領域を関連付けたりするなど、題材において取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にした指導を積み重ねる。

3 多様な音楽のよさを感じ取らせるための充実

- 長唄や民謡など、郷土の音楽や諸外国の様々な音楽のよさを味わうことができるよう、それらの音楽の特徴をとらえることができる教材を選択するとともに、曲に合った発声や多様な楽器の特性を生かした演奏の仕方を指導する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- よりよい演奏に変容したことを子どもが実感できるよう、題材で取り上げる音楽を形づくっている要素を明確にし、創意工夫しながら表現活動に取り組む場面を設定することが大切です。

「さくらさくら」（中学校1年）

本時のねらい：箏の音色と奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした表現を創意工夫して演奏することができる。

【教師】前回、「さくらさくら」を演奏してみて、どんなことが難しかったですか。

- 箏の奏法を学んでから演奏しましたが、いい音を出すのは難しかったです。でも、Aさんは「七七八、七七八」のところが音楽室に響く力強い音を出していて、その音に私は感動しました。
- 「六段の調」を鑑賞した時に、凜と響く音色が美しいと感じました。でも、自分で曲を演奏してみると、そういう音色を出すのは難しいんだなと思いました。

【教師】よりよい演奏にするために、「音色」に着目し、グループでアドバイスをし合いながら練習しましょう。

創意工夫する視点を明確にし、表現の向上につなげる

B：かすれたような音色になってしまうよ。しっかり弦を弾くのが難しいな。

C：Aさんと私の弾き方は何が違うのかな。

A：僕は、このように親指を立てて弾くように意識してるよ。

B：弾き方も、上にはじくのではなく、爪を向こう側に向かって押し付けるように弾いているね。

A：爪の角度にも気を付けて弾いてみたらどうかな。

B：手の形や爪の角度を変えたら、Cさんもさっきよりも力強い音色になってきたね。

C：演奏している時の自分の手の形を、動画で撮影して見てみよう。

【教師】グループでのアドバイスをもとに演奏してみて、どのようなことが変わりましたか。また、次はどんな演奏をしたいですか。

- 「さくらさくら」を通して演奏してみると、少しずついい音色で弾けるところが増えてきたな。次は最後までよく響く音色で弾けるようになりたいな。

《 図画工作科、美術科 》

重点事項

1 思いを膨らませ発想を広げる導入の工夫

- ・「今の気持ちの色」や「形から感じるイメージ」など、題材について形や色などの視点から子どもの考えを引き出し、共有する場を設定する。
- ・作品制作の主題を明確にするために、思いを言葉で表したり、イメージマップを作成したりするなどの活動を取り入れる。

2 思考力・判断力・表現力等を高めるための工夫

- ・感性や想像力を働かせ、感じ取ったよさや美しさを自分の表現に生かすことができるよう、表現と鑑賞の活動を相互に関連させる場の充実を図る。
- ・子どもが創造的に作品づくりに取り組むことができるよう、材料や用具に選択の幅を持たせたり、試行錯誤の場を設定したりする。

3 多様な表現や身近なもののよさ、美しさへの関心を高める指導の充実

- ・楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うために、生活や社会の中に見られる形や色彩、作品などから感じ取ったよさや美しさについて話し合う機会を設ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・感性や想像力を働かせ、感じ取ったよさや美しさを自分の表現に生かすことができるよう、制作している作品を互いに鑑賞し合う場を設定することが大切です。

「その人らしさが大切 その人物の特徴をとらえて絵に表す」（中学校1年）
本時のねらい：感じ取った友達らしさについて表し方を工夫することができる。

【教師】友達らしさを表現するために、どんな工夫をしながら描いているかについてグループで紹介し合ひましょう。

互いの作品の工夫している点を紹介し合う場を設定する

- A：Eさんが、ピッチャーとして一球一球に思いを込めてボールを投げる様子を表すために、Eさんの手の動きに注目しながら描いています。
- B：いいですね。手の動きに加えて、背景の色や描き方を工夫することで、Eさんらしさをさらに表現できるのではないのでしょうか。
- C：私は、Fさんがダンスをしているところを描いているのですが、彼らしいのびのびとした動きを表すにはどうしたらいいか、考えながら描いています。
- D：片足立ちや両手を広げてみるなど、大きな動作を取り入れてはどうでしょうか。ダンスの曲のイメージによって、動きも変わってくると思います。

【教師】友達のアドバイスを参考にしながら、自分が描きたい友達らしさを表現するための工夫について、構図や動きなどに着目して考えてみましょう。

イメージに合うよう動きや構図の工夫を促す

- ・背景に赤を使うと、ボールに込めたEさんの燃えるような闘志や真剣な様子も伝わるかな。
- ・Fさんは手足が長いので、その部分を強調して表現したらダイナミックな動きが表せるかな。
- ・上半身だけの構図にして、集中してじっくり本を読んでいる表情が伝わるように描いてみよう。
- ・みんなの話を聞いているうちに、友達らしさを表すポーズのイメージがわいてきた。足を組んで座っているところを描いてみよう。



《 体育科、保健体育科 》

重点事項

1 運動意欲を高める学習過程の工夫

- 技能の向上を実感し、自信を持って運動に取り組むことができるよう、個や集団の実態に応じてめあてやルール、練習方法等を選択させる場面を取り入れたり、学習の成果を実感できる振り返りの場を設定したりする。
- 撮影した動画を用いて、個々のめあてを設定させたり、自分の変容に気付かせたりするなど、ICTを効果的に活用する。

2 思考力・判断力・表現力を育成するための指導の充実

- 課題を解決したり活動の仕方を決めたりするための話し合い活動や、互いに助言したり教え合ったりする活動の際は、「よい動きについて確認する」「ルールや練習方法、練習の場等を選ぶ」「作戦を立てる」など、目的を明確にする。
- ICTを活用して自分や友達、チームの動きなどを撮影し、よりよい動きをイメージしやすくしたり、自他の動きを比較して課題をとらえさせたりする。

3 健康の保持増進と体力の向上に向けた取組の充実

- 健康の大切さを実感し、生涯を通じて自らの健康を適切に管理、改善していく能力を高めるために、健康的な生活習慣と自らの日常生活の様子を比較して考えたり、話し合ったりする場面を設定する。
- 運動、食事、休養・睡眠などの調和のとれた生活習慣が身に付くよう、養護教諭、栄養教諭、家庭等と連携した保健分野の学習を推進する。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 運動技能や体力の向上を実感することができるよう、一人ひとりのめあてや課題に応じた学習活動や、学びを振り返り修正する場を設定することが大切です。

「体づくり運動」（中学校3年）

本時のねらい：自己の健康や体力の実態をもとに、実生活で行う運動メニューを考えることができる。

【教師】健康を維持し、バランスよく体力を高めるために、実生活の中でどのような運動を取り入れたと思いますか。

- 新体力テストの結果から全身持久力が低いことが分かったので、持久力を上げるために、登校前にジョギングをしようと思っていますが、長い距離を走れるかどうかが不安です。
- 運動不足にならないようにしたいのですが、続けられるかどうか不安なので、友達に相談したり、様々な運動を試したりしながら考えてみたいです。

【教師】自分の高めたい体力について考えながら、挑戦したい運動コースを選び、運動してみましょう。
友達と一緒に相談しながら運動してもいいですよ。

個の課題に応じて学習活動を選択する場面を設定する

- エアロビクスは、ジョギングと同じように全身持久力を高めることにつながるし、音楽に合わせて動けるから楽しいな。
- 腕立て伏せやスクワットは、結構大変そうだな。Aさんがやっているストレッチを真似してやってみようかな。

〔運動コースの例〕

- ☐筋力コース
- ☐敏捷性コース
- ☐柔軟性コース
- ☐全身持久力コース

【教師】自分の高めたい体力に応じて、運動の強度や時間・回数、組合せ方も調整できるといいですね。
実際に運動してみて、どのように感じましたか。

一人ひとりの学習状況をもとに、視点を示しながら修正を促す

- ジョギングよりもエアロビクスの方が継続できそうな気がしました。運動時間を増やすために、もっと長い曲でやってみたいと思いました。
- 柔軟性コースで試してみたストレッチに、友達から教えてもらったストレッチを加えたいと思いました。下半身の柔軟性をもっと高めたいと思ったので、そのためのストレッチについては、自分で調べてみたいです。

《 家庭科、技術・家庭科 》

重点事項

1 確かな知識・技能の習得を図る指導の工夫

- 実践的・体験的な学習を通して、「なぜそうなるのか」「どうしてそうするのか」などの疑問を大切に授業を展開する。
- 調理、製作等の実習では、ICTを活用し、写真や動画で道具の持ち方や安全な使い方、操作の方法や姿勢などについて確認し合う場を設定する。

2 思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫

- 課題解決に必要な力を養うことができるよう、題材を構成する際には、「生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定する」「解決方法を検討する」「課題解決に向けた実践を行う」「実践を評価・改善する」「よりよい生活や社会の実現に向けて考察したことを表現する」などの活動を適切に位置付ける。
- ICTを活用して、子どもの思考の過程や結果を可視化することや、「比較する」「関連付ける」「分類する」などの活動の時間を保障することを通して、考えを広げたり深めたりできるようにする。

3 学ぶ意欲を高める指導の工夫

- 日常生活と深く関わる題材を設定し、自らの生活や身近な技術への関心を高めることを通して、課題を積極的に解決しようとする態度をはぐくむ。
- 学習したことがよりよい生活に結び付いていることを実感することができるよう、習得した知識や技能を活用した実践活動を行い、考察したことを伝え合う場を指導計画に位置付ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- よりよい解決策を構想し、自らの生活に生かすことができるよう、既習事項や生活経験と関連付け、多面的に考える場を設定することが大切です。

「献立づくり」(中学校1年)

本時のねらい：作成した中学生の1日分の献立を見直し、よりよい献立を考えることができる。

【教師】献立づくりではどんなことを大切にしましたか。

- 栄養バランスです。

【教師】栄養のバランスがよいとはどういうことでしょうか。

- 1～6群までの食品群がそろっているということです。
- 食品群別の摂取量がちょうどよいことも大切です。

【教師】食品群のバランスや摂取量がポイントなのですね。他にはありますか。

既習事項や生活経験をもとに、評価・改善につながる様々な視点に気付く場を設定する

- 冬だから温かいメニューにしました。
- 僕のお母さんは、旬の食べ物を入れるようにしてると言っていました。
- 同じ食品ばかりではなく、色々な食品を取り入れるようにしました。
- いろどりがよいと美味しそうに見えると思います。
- 全然気付かなかったポイントがあるので、もう一度献立を考えてみたいです。

【教師】みんなから出てきた「献立づくりのポイント」をヒントに、グループでアドバイスし合い、自分の献立を見直しましょう。

視点をもとに意見交換をする場を設定する

- A：Bさんの献立は、栄養のバランスはよいけど、朝食、昼食、夕食全て肉だね。3食の中で、1群の色々な食品を組み合わせるといいんじゃないかな。
- B：栄養の偏りがいいから大丈夫だと思ったけど、確かにその方がいいね。
- C：例えば、朝食を肉から卵に変えたらどうかな。
- B：それならできそう。スクランブルエッグとか、ゆで卵とか、調理方法も色々あるから、何がいいか考えてみるね。他に直した方がいいところはあるかな。

[板書の例]

[献立づくりのポイント]

- 6つの食品群のバランス
- 食品群別摂取量
- 食品の組合せ
- いろどり
- 調理方法、時間
- 季節感

外国語（英語）科

重点事項

1 コミュニケーション能力を高める指導の充実

- 語彙や表現、文法事項等の指導では、実際のコミュニケーションの場を想定した言語活動と効果的に関連付けるなど、子どもがその必要性、有用性を実感しながら、身に付けた知識を活用することができるよう配慮する。
- 英語による言語活動を授業の中心に据えるとともに、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、他者に配慮しながら自分の考えや気持ちを伝え合う活動を積み重ねる。

2 思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫

- 子どもの興味・関心を踏まえた課題を設定し、情報を整理しながら考えをまとめた上で英語で伝え合うなど、豊かな表現力を身に付けさせることができる機会の充実を図る。
- ALTに質問したりICT等を活用して調べたりする活動を通して、日本や異なる国の文化に対する関心を高め、自分の考えを表現できるような機会を設ける。

3 小・中学校の学びの連続性を意識した指導の充実

- 各学年や校種間での学びの連続性を意識し、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを即興的に表現する活動を段階的に設定する。
- CAN-DO形式での学習到達目標リスト等を活用し、到達目標に対する共通理解を図るとともに、目標や達成状況を子どもと共有した上で授業を行う。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 相手にとって必要な情報について理解し、事実や自分の考えなどを英語で伝えることができるよう、既習の語彙や表現を活用しながら伝えたい内容を整理させることが大切です。

「Unit7 An Online Tour of the U.K.」（中学校1年）

本時のねらい：動画や写真を見せながら、ロンドンの中学生に自分たちの学校生活の一場面を説明することができる。

【教師】 I have a video letter from ○○ sensei. She lives in London now.

- sensei, なつかしい！ 元気かなあ。

【ALT】 She has a request, お願い for all of you. Let's watch it together.

- お願いって何だろう。

活動の目的、場面、状況を明確にする

【教師】 Do you have any ideas? You can think by yourself or you can talk with your friends.

A：何を紹介しようかな。

B：学校祭はどうか。○○ sensei もステージ発表に出ていたから、見たら嬉しいんじゃないかな。

【教師】 That's a good idea. I have a video.

【ALT】（ビデオを見ながら）Wow! Is she dancing?

B：Yes, She is dancing.

【ALT】 She is dancing very well. What are they doing?

B：They are singing.

A：（ALT）先生、Do you have school lunch in your country? How about London?

【ALT】 Yes, I do. I don't know about London. Please ask about it.

C：僕は、柔道部を紹介しようかな。柔道部はないだろうし、喜びそう。ロンドンの学校にも、日本にはない部活動はあるのかな。

【ALT】 That sounds interesting. You can ask "Do you have any unique club activities in London?"

既習の語彙や表現を活用して伝えたい内容を整理させる

D：見て。私は、今撮ってみたの。This is my classroom. We're studying English. We're making the video.

【ALT】 Wow! How interesting!

道 徳 科

重 点 事 項

1 多面的・多角的に考える指導の工夫

- 子どもの実態や育てたい姿をもとに、その内容項目について最も考えさせたいことを明確にしたねらいを設定する。
- 子どもが様々な視点から語り合い、広い視野から道徳的価値について考えることができるよう、発問や問い返しを工夫する。
- 動作化や役割演技などの表現活動、問題解決的な学習を取り入れるなど、子どもが自らの考えをもとに、互いに考えを交流し深めていくことができるような授業の展開を工夫する。

2 自己の生き方について考えを深める指導の工夫

- 子どもが問題意識を持ち、道徳的価値の理解をもとに自己を見つめる動機付けを図る導入の工夫をする。
- 子どもの思考を深める手がかりとなるような板書の工夫をしたり、子どもが自己の生き方についての思いや願いを持つことができるような終末の工夫をしたりする。

子どもの考えを深めるために

- 道徳的価値の理解をもとに、物事を多面的・多角的に考えることができるよう、教材の登場人物に自分を重ねたり、登場人物の言動を客観的に見たりして話し合う場を設定することが大切です。
- 自己を見つめ、よりよい生き方について考えを深めることができるよう、自分との関わりで考えるための手立てを工夫することが大切です。

主題名：誠実な行動と責任（A 自主、自律、自由と責任）

教材名：「裏庭での出来事」（中学校 1 年）

本時のねらい：登場人物の言動について話し合うことを通して、自分の行動に責任を持つことの大切さに気づき、自分自身や周りに対して誠実な生き方をしていこうとする道徳的心情を高める。

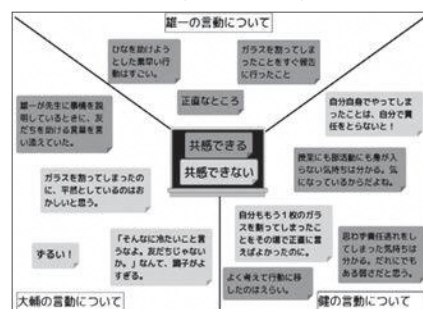
【教師】 3 人の言動のどんなところに共感できますか、または共感できませんか。

多面的・多角的に考え、話し合う場を設定する

＜グループで話し合いながら、Yチャートに考えを書き入れる＞

- 自分の行動に責任を持っている雄一に共感できるな。こういうことができる人でありたいよ。
- ガラスを割ってしまったことを全く気にしていない様子の大輔には共感できないな。
- 大輔の言動に流されてしまう健に共感できない。やってしまったことには責任をとらないといけないよね。
- 思わず責任逃れをしてしまう気持ちは分かる。そういう弱さは誰にでもあると思う。
- でも、健は最後にはよく考えて行動に移したよね。気になって部活動などに身が入らなかった気持ちも分かるな。

〔思考ツール（Yチャート）の活用〕



【教師】 3 人の言動を「誠実」という点で考えるとどう思いますか。

- 雄一は、自分の行動に責任を持っています。いちばん誠実だと感じました。
- そのように考えると、大輔は誠実さに欠けていると思います。
- ガラスを割ったことを言えなかった健も無責任で誠実さに欠けていました。でも、次の日、「僕は行く」と職員室に向かった健の姿は誠実だと感じました。
- 健は、誠実ではなかった自分の弱さと向き合ったからこそ、行動に移すことができるようになったのだと思います。
- 健の行動は、大輔にも影響を与えていると思います。

【教師】 誠実に生きるために大切にしたいことはどのようなことですか。

よりよい生き方についての考えを深めさせる

- 誠実な生き方は、周りにも影響を与えるのだな。自分の弱さともしっかりと向き合って、自分の行動に責任を持てるようになりたい。

《 特 別 活 動 》

重点事項

1 話し合い活動の充実

- 学級や学校のよりよい生活づくりにつながる集団決定ができるよう、「相手の意見を取り入れ、折り合う」「反対するだけではなく、改善策を提案する」など、相手の立場も踏まえた建設的な話し合い活動の充実を図る。
- 短冊やホワイトボード等を活用して、一人ひとりから出された意見を分類・整理するなど、合意形成までの流れを可視化したり、構造化したりする。
- 積極的に社会に参画する意識をはぐくむために、子どもが話し合い活動の課題を自分事としてとらえ、合意形成や意思決定したことを実践する機会を設定する。

2 体験活動の充実

- よりよい生活や望ましい人間関係を築く力をはぐくむことができるよう、学年・学級における集団活動や異年齢集団活動など、様々な人との関わりを通して体験を共有したり、多様な価値観にふれたりする機会の充実を図る。
- 事前に活動のねらいを十分に理解させるとともに、自他のよさに気づき、活動の成果を今後の生活に生かすことができるよう、個人の変容や集団の成長に着目した記述や発表を取り上げ、価値付ける。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 一人ひとりの主体的な意思決定を行うことができるよう、話し合い活動を通して視野を広げ、自己に必要な実践内容を具体的に考える場を設定することが大切です。

「自分の将来の姿を考えよう」（中学校2年）

本時のねらい：自分の将来を想像し、なりたい自分の姿に近づくために、これから努力していきたいことについて具体的に考えることができる。

【教師】自分が就きたい職業や将来の自分について考えたことをもとに、なりたい自分に近づくためには、どのような力が必要なのか話し合ってみましょう。

自分の考えを広げることができるよう、意見交流する場を設定する

A：看護師を目指しているので、看護について専門的なことを学びたいと考えていますが、勉強以外にもどんなことを頑張っていけばいいのでしょうか。

B：様々な患者さんがいるので、高いコミュニケーション能力が求められるのではないのでしょうか。

A：確かに、年齢も抱えている事情もそれぞれ異なるので、そうしたことを理解しながら接することができる力が必要なのかもしれませんね。

C：看護師の仕事について調べてみたら、適正の一つに「責任感が強い人」とありました。普段からリーダーとして学級を支えてくれているAさんの今の経験は、将来、社会に出てからも役に立つのではないかと思います。

A：確かに、学校生活で取り組んでいる活動は、将来につながるものもいろいろとありそうですね。Bさんは、どんな自分になりたいですか。

B：私は、周りから信頼される大人になりたいです。周囲から信頼される人とは、具体的にはどのような行動ができる人なのかについて考えています。

【教師】これまでに出了様々な考えも参考にしながら、もう一度、「なりたい自分」の実現のために必要なことを考えましょう。

改めて自己を見つめる時間を設け、意思決定につなげる

- 自分から挨拶することを心がけてきたけれど、挨拶に限らず自分から話しかけることは、コミュニケーション能力を高めることにもつながるのかもしれない。今よりもっと笑顔で話しかけられるようにします。
- みんなの考えを聞いて、社会人として仕事をするには、やっぱり物事を最後までやり遂げる力が必要なんだな。このことを意識して係の仕事に取り組みます。

総合的な学習の時間

重点事項

1 探究的な学習活動の充実

- ・体験から生じた疑問や体験活動前後の認識の違いから探究課題を設定させることで、課題意識を持ち主体的に学習を進めることができるようにする。
- ・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究の過程において、ICTや考えるための技法の効果的な活用を図る。

2 協働的に取り組む学習活動の充実

- ・他者と考えや意見を交流する機会を設定し、自分の考えをとらえ直して再構築したり、新たな疑問や課題を持ったりすることができるようにする。
- ・他者と協働して、複数の情報を比較・分類しながら必要な情報を選択したり、関係性を読み取りながら整理・分析したりするなど、新たな課題を見いだすことができる活動を学習過程に取り入れる。

3 地域や実社会とのつながりを深める学習活動の充実

- ・学校や地域の特色を生かし、地域をフィールドにした調査活動や体験活動の充実を図るとともに、地域の方や専門的な知識を有する方などに関わる場面を設定する。
- ・自分たちの身近な生活と社会の出来事を結び付けるなど、広い視野から物事をとらえ、考える学習活動を取り入れる。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- ・物事を様々な視点から考えることで新たな課題に気付いたり、自分の考えを再構築したりすることができるよう、調べたことや体験活動と関連させながら話し合う場を設定することが大切です。

「ふるさと秋田の今と未来」（中学校1年）

本時のねらい：自分たちが住んでいる地域の現状と課題について理解し、地域の活性化につながるアイデアについて考えることができる。

【教師】秋田の魅力や特色について調べてみて、どのようなことを感じましたか。

- ・お米がおいしい県について調べたら、どの資料を見ても、秋田県は上位でした。冬は雪が多くて大変な時もありますが、秋田の気候は米作りに適しているのだと思いました。
- ・秋田には、古くから伝わるお祭りがいくつもあり、それぞれのお祭りには地域の人の思いや願いが込められていることが分かりました。

【教師】グループごとに地域の現状や課題について話し合ってみましょう。

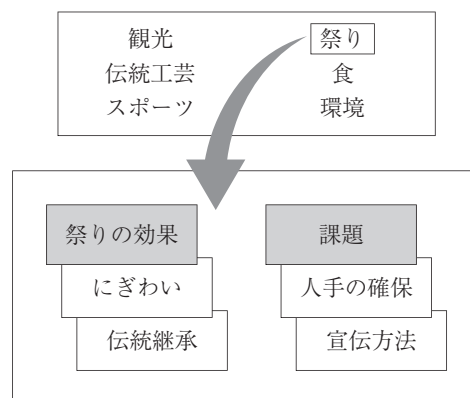
これまで調査した内容と関連させながら、互いの意見を聞き合う場を設定する

＜祭りについて話し合ったグループ＞

- A：祭りは、たくさんの人に元気を与えてくれるから、地域の活性化のために必要だと思います。
- B：そう思います。祭りは、にぎわいをもたらすだけでなく、伝統を守ることにもつながっています。
- C：でも、高齢化や後継者不足などの理由から、続けることが難しい祭りもあるようです。
- D：地域の祭りをもっと多くの人に知ってもらえることができれば、地域が盛り上がると思います。

【教師】話し合ったことをもとに、地域を活性化するために自分たちができるアイデアについて考えましょう。

- ・祭りの会場をクリーンアップするのはどうかな。自分たちでもできそう。
- ・祭りの由来や様子を写真や動画で紹介したら、見に来るだけでなく、祭りに協力したいと思ってくれることにつながらないかな。



〔フリーカード法の活用例〕

《 小学校外国語（英語） 活動 》

重点事項

1 コミュニケーション能力を育成する単元計画の工夫

- 単元終末の子どもの姿を明確にし、単元を中心となる言語活動を設定した上で、各単位時間の活動計画を作成する。
- 単元全体を通して、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を繰り返し設定する。
- コミュニケーションを行う相手や目的、場面、状況等を明確にし、英語で尋ねたり答えたりする必然性のある場面を設定する。
- 言葉や文化の面白さ、豊かさを実感することができるよう、ネイティブスピーカーとのチームティーチングを効果的に活用したり、ICTを用いて様々な言語や文化にふれたりする機会を設ける。

2 英語で会話しようとする意欲を高める指導の工夫

- 教師自身がモデルとなり、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションにより思いが通じ合う楽しさを示すなど、子どもが自分もやってみたいと感じられるような場を設定する。
- 「英語だけど分かった」という実感に結び付けられるよう、あいさつや簡単な指示、称揚などを英語で行ったり、イラストやジェスチャー等の視覚的な情報を取り入れたりする。

子どもの「もっと学びたい」につなげるために

- 子どもが実際の場面を思い浮かべながら、英語で自分の気持ちを伝え合うことができるよう、コミュニケーションを行う場面や状況を具体的に設定することが大切です。

「Unit2 How are you?」（小学校3年）

本時のねらい：どんな気分かをたずね合う。

【教師】 4人グループで今の気分について順番にたずねましょう。

A：Bさん, how are you?

B：I'm happy! Cさん, how are you?（以下Cさん、Dさんと続ける。）

【教師】 Good! 今の気持ちを上手に表現できましたね。Let's try again. 今度は、答える人は表情やジェスチャーをつけましょう。

- How are you? I'm happy!
- How are you? I'm tired and sleepy.



【教師】 Great job, everyone. ジェスチャーがつくと、より気持ちが伝わりますね！じゃあ今度は…。みなさん、突然ですが、次の時間に席替えをしますよ。

日常生活を思い浮かべながら、英語で表現できる場면을工夫する

【教師】 さて、今の気分はどうでしょう。How are you, everyone?

A：やったー！席替え！I'm happy!

B：少し心配だな。緊張するって英語で何て言うのかな。

【教師】 OK, Bさん. You are nervous. (ゆっくり) NERVOUS.

B：ナー、ナーブ…?

【教師】 NERVOUS. Please repeat. I'm nervous.

B：I'm ner... nervous.

【教師】 Great. How about you, Cさん? How are you now? Nervous? Happy?

C：えーと…、緊張もするけど少し楽しみ。この場合 I'm fine でいいのかな。

【教師】 なるほど。ワクワクしてる感じかな。そうだとしたら、I'm excited. という表現で伝えることができますよ。同じ出来事でも、人によって感じ方は異なり、表現の仕方もいろいろあることが分かりますね。



では、次はカードを使って、もっといろいろな場面を思い浮かべながら、ペアで気持ちを伝え合いましょう。場面カードを配ります。



遠足



運動会



テスト